

ski-doo®



MXZ 120/200 シリーズ

安全 ハンドブック

安全性および
使用に関する
情報が記載さ
れています



▲ 警告

成人による監督下で推奨される、オペレーターの最少年齢：

- 120 : 6才

- 200 : 13才

このオペレーターズガイドをよくお読みください。重要な安全情報が記載されています。

これらの車両の使用に伴うリスクを正しく理解するには、成人の監督が必要です。

若いオペレーターとともに、このオペレーターズガイドの内容を確認し、説明し、車両の正しい安全な操作方法を理解していることを確認してください。

このオペレーターズガイドは、常にスノーモービルに保管してください。

520003165_JA

本書は説明書原本の
翻訳版です

カリフォルニア州「PROPOSITION 65」に基づく警告



警告

オフロード車両の操作や保守、メンテナンスは、エンジンの排気や一酸化炭素、フタラート、それに鉛などの化学物質の暴露を受ける可能性があります。これらはカリフォルニア州法で発がん性や催奇性、その他の生殖に関する危害の原因となることが知られています。そのような可能性を最小限に抑えるために、必要時以外はエンジンのアイドリングをせず、通気性のよい場所で整備を行い、整備時はグローブを着用するか頻繁に手を洗うようにしてください。詳細は、www.p65warnings.ca.gov/products/passenger-vehicle

カナダの製品代理店は、Bombardier Recreational Products Inc. (BRP) です。

米国内では、製品の流通とサービスは BRP US Inc. が行います。欧州経済圏（欧州連合加盟国プラス英国、ノルウェー、アイスランドおよびリヒテンシュタイン）、独立国家共同体（ウクライナおよびトルクメニスタンを含む）、ならびにトルコでは、製品の流通とサービスは BRP European Distribution S.A. および BRP のその他の関連会社または子会社が行います。

製品の流通とサービスは、Bombardier Recreational Products Inc. (BRP) または提携機関が行います。

™で示される以下の商標は、BRP またはその関連会社が所有しています。以下の商標は、Bombardier Recreational Products Inc. またはその子会社に帰属します：

SKI-DOO®

MXZ®

XPS®

無断複写・転載を禁じます。本オペレーターズガイドの内容の一部または全部を、Bombardier Recreational Products Inc. の許可なしに無断転載することは禁止されています。

©Bombardier Recreational Products Inc. (BRP) 2023

はじめに

スノーモービルは、爽快な体験をもたらす非常に楽しいスポーツです。しかし、それには多くの責任が伴います。スノーモービル使用者が体験する自由は、スノーモービル愛好家が責任ある行動をとり続ける限り継続するものです。責任ある行動とは本質的に、自分自身の安全および他の人の安全と権利に配慮し、環境を守ることを意味します。

オペレーターズガイドと本スノーモービル安全ハンドブックに記載されている情報を読み、それに従うことが、スノーモービルというスポーツとすべての人々の安全を守る第一歩となります。常識、適切な判断力、経験は、スノーモービルの安全な運転に非常に重要な役割を果たします。オペレーターであるあなたは、安全の最も重要な要素となります。スノーモービル走行の前、走行中、走行後を通して、安全を心がけてください。

スノーモービルの適切なメンテナンス、すべての法律の遵守、オペレーターの教育、そして練習は、すべて安全で楽しい体験につながります。安全なスノーモービル走行に必要な特別な技術や知識の多くは、時間をかけて習得する必要があるため、忍耐強く取り組んでください。

スノーモービルの安全講習やけが人の応急処置法の講習を受け、スノーモービルクラブに参加すれば、スノーモービル体験がさらに充実し、長年にわたって安全にスノーモービルを楽しむことができます。

BRPのすべてのスノーモービルは、スノーモービル安全認証委員会の基準を満たすか上回っており、SSCCラベルが貼付されています。BRPは、すべてのスノーモービルの安全な使用を推奨および奨励しています。承認されたヘルメットとゴーグルを必ず着用してください。注意しながら運転し、国や地域のすべての法律を遵守し、他の人の権利を尊重してください。国際スノーモービル製造者協会（ISMA）の会員であるBRPは、トレールの改善、イベントのスポンサー、スノーモービルスポーツの支援などを行っています。米国スノーモービル協会（ACSA）の会員であるBRPは、教育や慈善事業、研究プログラムを通じてスノーモービルの利用を促進しています。

このスノーモービル安全ハンドブックは、スノーモービルの一部と見なすべきものです。売却の際は、スノーモービルとともにお渡ししてください。

目次

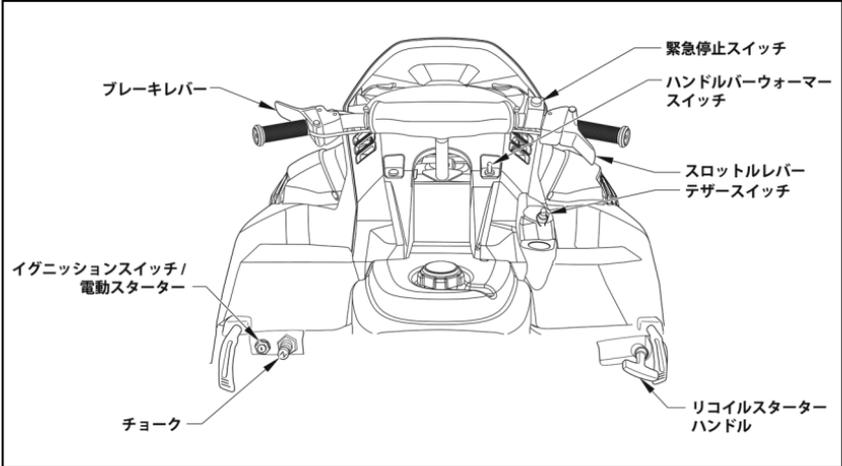
操作前に	1-6
スノーモービルの操作	1
スノーモービルを使用したけん引	3
安全ラベル	3
安全装置	4
トレーラーを使用したスノーモービルのけん引	6
オペレーターの準備	8-13
すべてのスノーモービルオペレーターの皆様へ	8
トレールにある標識	9
適切な服装	9
体感温度表	10
心身の健康	11
環境	12
責任	12
登録および許可	13
倫理規定	13
スノーモービルの運転	14-16
安全運転に関する指示	14
スノーモービルの準備	17-18
メンテナンス	17
走行/始動前点検	17
適切な給油	18
スノーモービルの走行	19-26
初めての走行	19
スノーモービルの基本操作の習得	19
運転姿勢	19
スノーモービルが雪にはまってしまった場合	20
グループ（サファリ）走行	21
地形や走行状況の変化	21
危険	23
応急処置	27-29
寒冷地での負傷	27
緊急時	28
お勧めする追加装備	28
危機的状況	29
救命信号	29
おわりに	30

操作前に

スノーモービルの操作

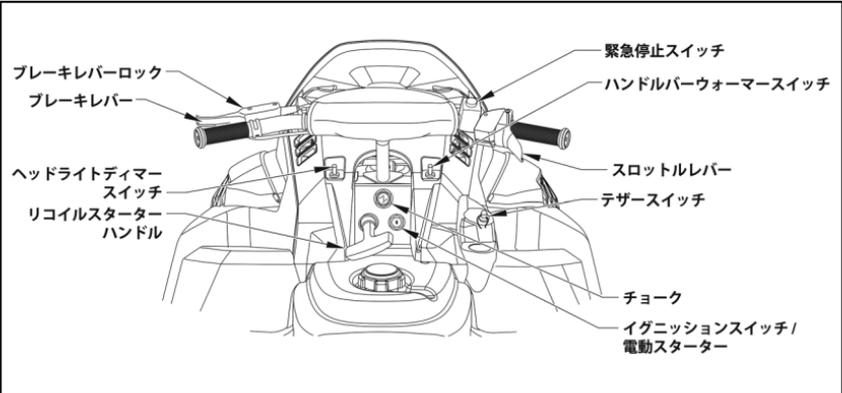
■注記: 以下のイラストと説明は、一般的なスノーモービルの操作について説明しています。ご使用のスノーモービルモデルの操作に関する詳細は、オペレーターズガイドをご覧ください。

120



0753-830

200



0753-827

ブレーキレバー — 左側のハンドルバーにあるブレーキレバーを握ると、スノーモービルの前進の動きを減速または停止させることができます。

ブレーキレバーロック (200) — ブレーキレバーの隣または上に位置するブレーキレバーロックは、ブレーキレバーを握った位置に保持します。ロックアクチュエータを作動させるには、ブレーキレバーをいっぱいまで握り、人差し指でアクチュエータを作動させてからブレーキレバーを離します。ロックアクチュエータを解除するには、ブレーキレバーをいっぱいまで握ってアクチュエータが解除されるようにします。

⚠ 警告

ブレーキレバーロックはパーキングブレーキではないため、5分を超えて作動させないようにしてください。ブレーキレバーロックは、ブレーキレバーを圧縮された位置に維持することで、ブレーキディスクに対する圧力を維持します。しかし、一定の時間が経過すると、ブレーキディスクに加わる圧力が低下し、スノーモービルを静止させるのに必要な圧力よりも低くなる可能性があります。

チョーク — 冷えたエンジンを始動するには、チョークボタンまたはチョークレバーを作動させてください。手順詳細については、オペレーターズガイドをご覧ください。エンジンが暖機されている場合、チョークを使用する必要はほとんど、あるいはまったくありません。

緊急停止スイッチ — 右側のハンドルバーにある緊急停止スイッチは、エンジンを直ちに停止させるために作動させることができます。上位置になっていると、緊急停止スイッチは作動せずエンジンは動作することができます。緊急停止スイッチを押し下げると、エンジンの点火が行われず、エンジンが停止し、スノーモービルは惰性で動いてから停止します。

ヘッドライトディマースイッチ (200) — フードにあるヘッドライトディマースイッチを押して、ハイビームまたはロービームを選択できます。

IGNITION SWITCH — キーで操作するイグニッションスイッチにより、エンジンを作動させたり (RUNまたはSTART位置) または停止させたり (OFF位置) することができます。スノーモービルに始動スイッチやリコイルスターターが装備されている場合、スターターモーターを起動するには、イグニッションスイッチを「RUN」または「START」の位置にしておく必要があります。不正使用されないようにするために、使用後は必ずイグニッションスイッチからキーを抜いてください。

注意

エンジンが動作しているときにスターターを作動させたり、エンジンが始動した後でイグニッションスイッチを始動位置のままにしたりすると、スターターやエンジンのリングギアに深刻な損傷が生じます。

スロットルレバー — 右側のハンドルバーにあるスロットルレバーは、スノーモービルをさまざまな速度で運転するために使用します。スノーモービルの実際の速度は、地形の状態に左右され、スロットルレバーの動きに直接比例します。スロットルレバーは、放したときに自動的にアイドル位置に戻らなければなりません。

⚠ 警告

スロットルレバーがアイドル位置に素早くきちんと戻らない場合は、スノーモービルを運転する前に、スロットルシステムの修理または、損傷した部品の交換を行う必要があります。

ウォーマースイッチ — フード上にあるこのスイッチを操作して、ハンドルバーやサム (スロットルレバー) にある加熱素子を作動させます。

スノーモービルをけん引したけん引

けん引用のそりや他のスノーモービルをけん引するときは、特に注意が必要です。スノーモービルでけん引するそりの場合、重心ができるだけ低くなるように荷物を積載しなければなりません。そりをけん引するときは、頑丈なけん引バーを**使用しなければなりません**。そりに人を乗せてけん引するときは、安全のため低速で走行し、起伏の多い地形は避けてください。また、道路を横断するときは、乗っている人を全員降ろして歩かせてください。けん引されるどのそりにも、両側面と後部に反射材がなければなりません。人を乗せたそりやトボガンなどを、絶対にロープでけん引しないでください。トボガンをロープでけん引することはきわめて危険であり、**厳禁です!**

スノーモービルを別のスノーモービルでけん引しなければならない場合は、まずけん引されるスノーモービルのドライブベルトを取り外します。次に、けん引ロープを使用して、ロープの中央部分をけん引されるスノーモービルのリアバンパーの中央に（結び目を作って）固定し、ロープの両端の長さが等しくなるようにします。次に、ロープの両端をけん引されるスノーモービルのスピンドルに2回巻き付け、固定します。

注意

スノーモービルをけん引する際は低速で走行し、起伏の多い地形は避けてください。また、ブレーキをかける際は、先行するスノーモービルがブレーキをかけても、けん引されているスノーモービルはブレーキをかけず、惰性で停止することに留意してください。スキーのループでけん引しないでください。

安全ラベル

BRPのスノーモービルの整備および操作に関する3種類のラベルが、オペレーターズガイド、スノーモービル安全ハンドブック、およびスノーモービル本体に表示されています。

△警告 個人の安全に関する情報を示します。重傷または死亡の可能性に関する指示であるため、必ず従ってください。

△注意 指示に従わなかった場合、中度または軽度の負傷を招く恐れがあることを示しています。

注意 スノーモービル関連の損傷を引き起こす可能性がある危険な行為を示しています。スノーモービルの一部または全部に損傷を与える可能性があるため、指示に従ってください。

■注: 特に注意すべき補足情報を示しています。

所有者/オペレーターであるお客様は、すべてのラベルがスノーモービルに貼付されていること、および関連情報に従っていることを確認する必要があります。

スノーモービルの安全規格は、スノーモービル安全認証委員会（SSCC）によって採用されているものです。BRPのすべてのスノーモービルのトンネル部には、この委員会の認証ラベルが貼付されています。このラベルは、SSCCが定めた安全規格に適合していることが独立した試験機関によって確認されたことを示しています。

THIS MODEL HAS BEEN EVALUATED BY AN INDEPENDENT TESTING LABORATORY AND IT MEETS ALL SSSC SAFETY STANDARDS IN EFFECT ON THE DATE OF ITS MANUFACTURE.

SPONSORED BY THE SNOWMOBILE SAFETY AND CERTIFICATION COMMITTEE, INC.

認証済み



CERTIFIED



D 5 4 4 8 7 5 4

このモデルは、独立した試験機関により評価され、その製造日に効力を有するすべてのSSSC安全基準に適合しています。

後援：THE SNOWMOBILE SAFETY AND CERTIFICATION COMMITTEE, INC.

0155-567A

安全装置

BRPのスノーモービルが同乗者を乗せるように設計されている場合、そのスノーモービルには、運転者および同乗者を保護するように設計された安全装置が装備されています。

- A. **防滑面付きランニングボード** — 運転者がスノーモービルに乗っているに、フットレストとして機能します。また、トレール上の物体に当たらないように運転者/同乗者の足を保護します。運転者/同乗者は、常にランニングボードに足を**置かなければなりません**。スノーモービルを旋回させようとしているとき、またはスノーモービルが走行しているときは、絶対にスノーモービルの外端よりも外側に足を**置かないでください**。ランニングボードの表面が雪や氷で覆われている場合は、ただちに表面を清掃してください。ランニングボードは、スノーモービルの使用ごとに清掃してください。ランニングボードには、積雪や氷がないときに運転者/同乗者が運転しているとき、および乗車/降車しているときに、誤って滑って転倒するのを防ぐための滑り止め加工が施されています。
- B. **スノーフラップ** — スノーモービルの後部から伸びており、雪や氷など、トラックによって巻き上げられたものをそらします。



SNO-WL12

- C. フロントバンパー — 軽微な衝突による損傷から保護します。
- D. リアバンパー — 軽微な衝突による損傷から保護します。リアバンパーは、スノーモービル後部を吊り上げるためのハンドルとして使用できます。
- E. 緊急停止スイッチ — イグニッションスイッチから独立して動作するスイッチです。エンジンを始動させる前にON（上側）位置にしておかなければなりません。エンジンを直ちに停止しなければならない緊急事態が発生した場合は、緊急停止スイッチを押し下げてOFF位置にし、エンジンを停止させます。その後、ブレーキをかけてスノーモービルの前進動作を停止させます。
- F. ウィンドシールド — 風や雪を遮ることで、オペレーターを保護し快適性をもたらします。
- G. テールライト、ブレーキライト、ヘッドライトおよびリフレクター — ライトは、運転中および夜間に良好な視界をもたらします。また、スノーモービルの乗員の安全のため、スノーモービルにはリフレクターが装備されており、スノーモービルの視認性を高めます。すべてのライトが正常に機能し、リフレクターが所定の位置にあることを確認しない限り、スノーモービルを運転しないでください。
- H. ブレーキレバーロック（200） — ブレーキレバー用のロック装置です。スノーモービルを駐車したり、アイドルリングさせたり、スノーモービルから離れたりするときは、必ずアクチュエータを作動させてください。アクチュエータを作動させたままスノーモービルを運転しないでください。

警告

ブレーキレバーロックはパーキングブレーキではないため、5分を超えて作動させないようにしてください。ブレーキレバーロックは、ブレーキレバーを圧縮された位置に維持することで、ブレーキディスクに対する圧力を維持します。しかし、一定の時間が経過すると、ブレーキディスクに加わる圧力が低下し、スノーモービルを静止させるのに必要な圧力よりも低くなる可能性があります。

- I. スロットルコントロールスイッチ — スロットルスライドがアイドル位置に戻らなくなることで起こるスノーモービルの暴走を防止します。スロットルシステムに着氷したり、その他の不具合が発生した場合、スロットルレバーを放すとエンジンが停止します。スロットルシステムが正常に作動しない状況が発生した場合は、直ちに緊急停止スイッチを作動させてください。スロットルコントロールスイッチがエンジンを停止させた場合、または上記のような状況が発生した場合は、問題を修正してからエンジンを再始動してください。

- J. **テザースイッチ** — テザースイッチコードがオペレーターに接続されている場合、オペレーターがスノーモービルから落下してキャップがベースから外れると、テザースイッチがイグニッション回路を遮断します。テザースイッチコードをオペレーターに取り付けてからエンジンを再始動してください。すべてのレース用途において、テザースイッチの使用が義務付けられています。

注意

テザースイッチを使用する際は、コードがハンドルバーに絡まったり、木の枝などの物に接触したりしないように注意してください。絡まったり接触したりすると、キャップが突然外れて予期せぬ出力の喪失が発生し、スノーモービルの制御が失われて重傷につながるおそれがあります。

ベルトガード（図示されていません） — クラッチまたはドライブベルトが破損したときに、オペレーターを保護します。ベルトガードを固定せず、フード/アクセスパネルをしっかりと固定していない状態では、スノーモービルを運転したりエンジンをかけたりしないでください。

ハンドルバー/サム用ウォーマー（図示されていません） — スイッチで制御し、オペレーターに快適さをもたらします。

警告

高齢、慢性疾患、糖尿病、脊髄損傷、投薬、アルコール摂取、疲労、その他の身体的状態により皮膚感覚が鈍っている人の場合、シートヒーターを使用する際は注意が必要です。シートヒーターは低温でもやけどを引き起こす可能性があり、特に長時間使用する場合はその危険が高くなります。ブランケットやクッションなど、熱を遮断するものをシートの上に置かないでください。シートヒーターが過熱するおそれがあります。ピンや針などの先の尖ったものでシートに穴を開けないでください。加熱素子を損傷し、シートヒーターが過熱するおそれがあります。シートが過熱すると、重傷を引き起こす可能性があります。

ハンドグリップ（図示されていません） — スノーモービルに同乗者用シートが装備されている場合、ハンドグリップは同乗者がしっかりとつかまるためのものとなります。オペレーターは運転前に、同乗者にハンドグリップを常時使用するよう指示しなければなりません。1人乗り用に設計されたスノーモービルには、絶対に同乗者を乗せないでください。

トレーラーを使用したスノーモービルのけん引

傾斜荷台付きトレーラー、平床トレーラー、密閉型トレーラーなど、スノーモービルの運搬用に特別に設計されたトレーラーを使用するのが最も良い方法です。傾斜荷台付きトレーラーには、スノーモービルの積み込みを補助するためのウィンチシステムが装備されている場合があります。平床トレーラーには、折りたたみ式または自動格納式のスロープが装備されており、スノーモービルを後部からトレーラーに積み込み、前方から降ろすことができます。密閉型トレーラーには通常、前後に折りたたみ式のドアがあり、積み下ろし用のスロープとして使用できます。

安全チェーン、適切なサイズのヒッチボール、トレーラーのライトに電源を供給するための適切な電気接続など、トレーラーを車両に取り付けるための適切な装備をすべて準備してください。スノーモービルをトレーラーでけん引する前に、トレーラーの最大積載量と必要なタイヤ空気圧、けん引車の車両総重量定格とけん引能力を確認してください。

注意

スノーモービルをトレーラーに積み込む前に、トレーラーの連結部がけん引車のヒッチボールに正しく固定されていることを必ず再確認してください。これにより、特に2台のスノーモービルを積載できるトレーラーの場合、スノーモービルを運転してトレーラーの荷台に載せるときに、トレーラーがヒッチから外れるのを防ぐことができます。

スノーモービルをトレーラーに固定するときは、ロープやゴム製のストラップは使用しないでください。これらは簡単にほつれたり、伸びたり、切れたりする可能性があります。スノーモービルを固定した後、トレーラーのブレーキ（トレーラーにブレーキが装備されている場合）、テールライト/ブレーキライト/方向指示灯、サイドマーカーライトがすべて正常に機能することを確認してください。再確認後、オープンタイプのトレーラーの場合は、けん引中にスノーモービルを保護するために、必ずスノーモービルをカバーで覆ってください。

⚠ 警告

すべてのシート、アクセサリ、および貨物については、道路に落下したり、他の車両を危険にさらしたりすることがないように、必ず正しく固定するか取り外すようにしてください。

オペレーターの準備

すべてのスノーモービルオペレーターの皆様へ

自動車、オートバイ、モーターボートの運転経験の有無に関わらず、スノーモービルの運転席に初めて座る時は、誰もが初心者です。どのようなスポーツでも、参加者には、リスクを許容範囲内に抑えるための技術と判断力が求められます。雪、氷、光、地形、天候、気温などのさまざまな条件と、それらがスノーモービルの運転やオペレーターに及ぼす影響について**学ばなければなりません**。オペレーターは、変化する地形条件や速度の下でスノーモービルのバランスを取る方法を**習得しなければなりません**。また、スノーモービル走行中に他の車両やアクティビティを避けて通る方法も**習得しなければなりません**。運転初心者には、スノーモービルを運転する前に、認定スノーモービル安全講習に参加することを強くお勧めしています。

どのスノーモービルオペレーターも、以下の事項に精通しておく必要があります。

1. スノーモービルの操作
2. 安全装置
3. トレールにある標識
4. 適切な服装
5. 責任
6. 安全運転に関する指示
7. 一般的なメンテナンス

トレールにある標識

	行き止まり/私有地トレール		右または左カーブ
	停止		急斜面
	スノーモービル走行可		スノーモービル横断
	スノーモービル走行不可		対面通行
	一方通行一進入禁止		前方に一時停止あり
	情報		トレールマーカー
	危険		方向マーカー
	注意		トレールの交差点

0000-066

トレールにある標識は、トレールでのスノーモービルの使用を管理、指示、規制したり、トレールの状況を運転者に知らせたりするために使用されるものです。スノーモービルのオペレーターは、あらゆるエリアのすべての標識に精通し、それらを認識できなければなりません。

規制、警告、トレールマーキング、情報提供の4種類が、トレールで使用される標識の種類です。上記の図に示すトレール標識は、スノーモービルの使用エリアを管轄するほとんどの機関で認識されています。特定の地域では、他のトレール標識が使用されている場合もありますので、トレールライディングに出かける前に、それらに慣れておくようにしてください。

適切な服装

スノーモービルやその他のウィンタースポーツを楽しむには、暖かい服装が必要です。しかし、暖かさを保とうとして厚着をすると汗をかき、かえって体が冷えてしまうことがあります。防寒の基本は、適切な衣服を着用すれば、衣服が冷気を遮断し、体から湿気が蒸発するのを促すというものです。

風の冷たさ、つまり体感温度は、気温とスノーモービルの走行速度と風速の組み合わせによって決まるものですが、スノーモービル走行ではこれが最大の危険要因となります。以下の示す体感温度表では、風速とスノーモービル走行速度が速くなるほど、凍結の危険性も高まっていることに注目してください。スノーモービルを楽しむ際の服装を選ぶときは、予想される最も寒い体感温度、露出している時間、予想される気象条件に合わせて選ぶことが重要です。現在の気温や気象条件に合わせて選ぶだけでは不十分な場合がよくあります。

体感温度表

体感温度表																							
風と スノーモービルの 合成速度	米単位										風と スノーモービルの 合成速度	メートル単位											
	実際の温度計の読み値 (°F)											実際の温度計の読み値 (°C)											
	50	40	30	20	10	0	-10	-20	-30	-40	-50	-60	5	0	-5	-10	-15	-20	-25	-30	-35	-40	
mph	同等温度 (°F)										km/h	同等温度 (°C)											
0	50	40	30	20	10	0	-10	-20	-30	-40	-50	-60	0	5	0	-5	-10	-15	-20	-25	-30	-35	-40
5	48	37	27	16	6	-5	-15	-26	-36	-47	-57	-68	10	1	-4	-11	-16	-22	-27	-33	-38	-45	-50
10	40	28	16	4	-9	-21	-33	-46	-58	-70	-83	-95	20	-4	-9	-17	-23	-29	-36	-42	-48	-54	-61
15	36	22	9	-5	-18	-36	-45	-58	-72	-85	-99	-112	30	-7	-13	-21	-28	-35	-42	-48	-55	-63	-69
20	32	18	4	-10	-25	-39	-53	-67	-82	-96	-110	-124	40	-9	-16	-24	-32	-39	-47	-53	-61	-69	-76
25	30	16	0	-15	-29	-44	-59	-74	-88	-104	-118	-133	50	-11	-18	-26	-34	-41	-49	-57	-64	-73	-80
30	28	13	-2	-18	-33	-48	-63	-79	-94	-109	-125	-140	60	-12	-19	-27	-35	-43	-51	-59	-66	-75	-82
35	27	11	-4	-20	-35	-49	-67	-82	-98	-113	-129	-145	70	-13	-20	-28	-36	-44	-52	-60	-68	-76	-84
40	26	10	-6	-21	-37	-53	-69	-85	-100	-116	-132	-148											
(風速40 mph を超えると、 体感に影響す ることはほぼ ありません)	軽度の危険* (適切な衣服を着用 している人の場合)			危険度が上昇*				重大な危険*				(風速70 km/h を超えると、 体感に影響す ることはほぼ ありません)	軽度の危険* (適切な衣服を 着用している人 の場合)			危険度が上昇*			重大な危険*				
	*露出した皮膚の凍結による危険												*露出した皮膚の凍結による危険										

体感温度

スノーモービルを運転するなどのオペレーターも、耐水性の生地と断熱性の高い軽い裏地を使用した、良質のスノーモービル用スーツ（つなぎまたはツーピースタイプ）を着用する必要があります。スノーモービル用スーツの下に着用する衣服の種類と量は、その日の天候条件によって異なります。地肌の上に通気性のある防寒用下着を着用すると、断熱効果を発揮するのに必要な空気の層がもたらされます。

承認されたヘルメットは、保温性と保護機能を備えており、あごひもを締めた状態で常に着用しておく必要があります。ヘルメットはフルフェイス型で、プラスチック製のシールドと丈夫なあごひもが付いているものを使用してください。ヘルメットにプラスチック製の保護シールドが付いていない場合は、保護用ゴーグルを着用してください。ゴーグルやフェイスシールドは、変化する光の条件下で目を保護し、視認性を高めるために重要な装備です。オペレーターの好みにもよりますが、明るい日光の下ではグレーまたはダークグリーンレンズ、曇天や午後遅くの視認性を高めるにはアンバーまたはイエローのレンズを推奨します。夜間はカラーレンズを使用しないでください。夜間は、あらゆる光の条件に適したクリアレンズを必ず使用してください。

極寒の天候の場合は、凍傷の可能性を低くするために、ヘルメット、ゴーグル/フェイスシールドに加えてフェイスマスクの着用をお勧めします。

スノーモービル用グローブまたは二又手袋で手を保護し、親指とその他の指を自由に動かしてコントロール類を操作できるようにしなければなりません。

防水ナイロンまたはレザーの上側層に、合成素材、フェルト、またはウールの裏地が付いたゴム底のブーツは、必要な保温性、乾燥性、グリップ力を備えているため、スノーモービルに最適です。スノーモービル用ブーツに加えてウールまたは保温ソックスを履くことで、足元を寒さから守ることができます。スノーモービル用ウェアに関しては、いくつかの重要なポイントがあります。

1. ウェアは、通気性と保温性を備える必要があります。

2. 動きを制限しない程度に重ね着をしてください。通気性の良いインナーウェア（防寒下着）、その上に耐久性のある実用的な素材の第2層（ウールシャツと丈夫なパンツ）、第3層目の断熱層（スノーモービル用スーツ）というように、厚手のものを1枚着るよりも重ね着の方が機能的です。
3. スノーモービル用の衣服を購入するとき、快適で体にフィットしている衣服であることが、暖かくするうえで重要であることを忘れないでください。
4. 断熱効果のある衣服は濡れるとその効果が失われるため、濡らさないようにしてください。また、衣服に雪が入らないようにしてください。体を冷やす場合は、襟元の衣服を開くようにしてください。衣服は、使用後に乾燥させてください。
5. 手と足の暖かさは動きによって異なります。厚すぎる靴下や手袋は着用しないでください。ウールまたは保温性の靴下1足と、裏地付きのスノーモービル用手袋1組があれば、ほとんどの冬場の状況に対応できます。
6. 凍傷を防ぐため、肌は露出しないようにしてください。
7. スノーモービルの可動部に巻き込まれたり引っ掛かったりする可能性がある長いマフラーやゆったりとした衣類は、絶対に着用しないでください。
8. 適切な服装を心がけ、着込み過ぎや着込み不足は避けてください。

心身の健康

スノーモービルの運転は体力を使うものです。スノーモービルを思う存分に楽しむためには、必要な筋肉を鍛えたり、二日酔い時の筋肉のこりや腕の痛みを軽減するなど、体調を整えておくことが求められます。また、深い雪にはまって身動きが取れなくなるなど、困難な状況に陥った場合にも、心身ともに健康なオペレーターの方が有利になります。

長時間の走行やスノーモービルサファリ（グループ走行）には、短時間走行に必要な体力以上の持久力が必要です。十分な睡眠と健康的な食事は、必要な持久力を得るための良い行動です。疲れを感じたら、こまめに休憩を取るようになってください。

高地での運転には、別の複雑な要素が伴います。高地では酸素濃度が低いいため、軽い動きでも早く疲労を感じ、疲労が蓄積します。高地での運転に備える最も良い方法は、長めの休憩を取りながら短い距離で「慣らしていく」ことです。

スノーモービルを運転する際に、精神面を整えておくことは極めて重要です。精神的な疲労は、判断力の低下や不安全な運転操作につながる可能性があります。スノーモービルのオペレーターには、常に素早い反応と的確な判断が求められます。オペレーターが緊急事態に適切に対応する準備ができていないのであれば、スノーモービルを運転する準備が十分にできていないとは言えません。

薬物やアルコールの影響がある場合は、反応するまでの時間が長くなり、判断力を損なうため、絶対にスノーモービルを運転しないでください。

環境

すべてのスノーモービル使用者に、環境を保護する責任があります。スノーモービル使用エリアを損傷したり破壊したりする行為は厳禁です。そのような行為は、スノーモービルの使用に関する法律がより厳しくなることにつながる可能性があります。スノーモービル使用者は、常識と礼儀をわきまえる必要があります。どのスノーモービル使用者も、「持ち込んだものは持ち帰り、写真だけを撮り、残すのは足跡だけにする」というポリシーを持つべきです。以下に示すガイドラインに従ってください。

1. 十分な積雪があって地表の植物が保護されている場合にのみ、スノーモービルを運転してください。
2. 樹木や低木はそのままとし、それらの上を走行しないでください。
3. トレールで野生動物に出会った場合は、動物がゆっくりと移動できるようにしてください。動物を追いかけたり、困らせたりしないでください。
4. ごみを捨てたり、周辺を汚したりしないでください。
5. 指定されたエリアとトレールのみを走行してください。すべての規則や規定を遵守してください。必要に応じて許可を取得してください。
6. スノーモービルの騒音は、病院、療養所、住宅地などの指定された「静寂ゾーン」を妨害する可能性があります。これらのゾーンの近くでは、常識と礼儀をわきまえるようにしてください。

責任

国、県および市町村によっては、スノーモービルの使用法や運転に関する法律や規制が施行されている場合があります。これらの法律や規制を知り、遵守することは、スノーモービルの所有者およびオペレーターの責任です。また、所有者およびオペレーターは、スノーモービルの運転に関連する賠償責任、物損、および保険に関する法律についても理解しておかなければなりません。

他人のプライバシーおよび所有物を常に尊重してください。私有地でスノーモービルを運転する場合は、必ずその土地の所有者の同意を得てください。公有地で運転する場合は、事前に関連当局に確認し、住宅地では低速で運転してください。

子供がスノーモービルのことを理解し、安全に操作したり管理したりできる能力があるかどうかを判断するのは親の役目です。また、子供がスノーモービルというスポーツにどの程度関わるべきかを判断するのも親の責任です。どのような場合であっても、監督下でない状況で子供にスノーモービルを運転させないでください。子供には、スピードを出しすぎたり、注意を怠ったり、過信したりしないよう警告してください。不正使用されないようにするために、使用後は必ずイグニッションスイッチからキーを抜いてください。

登録および許可

ほとんどの国や地方では、新車および中古車のスノーモービルを、スノーモービルの使用を管轄する機関に登録することが法律で義務付けられています。スノーモービルの登録には、国や地方自治体が現存するスノーモービルの記録を維持したり、スノーモービル盗難されてから見つかった場合に、所有者/運転者が自分のスノーモービルを特定する手段になったりするなど、いくつかの目的があります。また、登録料は、政府機関がトレールを設置し維持するための財源となります。

必要な許可証はすべて取得してください。スノーモービルは、年齢に関係なく運転することができます。ただし、ほとんどの国や地域では、未成年者が親または保護者の所有ではない公有地や私有地でスノーモービルを運転する際に、オペレーターの許可証が必要となります。未成年者のスノーモービルの運転許可証に関する具体的な法律については、地元の警察または自然保護機関にお問い合わせください。

倫理規定

1. 私は良きスノーモービル使用者となります。私は、人々が私自身の行動を見て、スノーモービルの使用者を判断することを認識しています。私は、自らの影響力を生かして、他のスノーモービル使用者に対して適切な行動を促すように促します。
2. 私は、トレールやキャンプ場にゴミを捨てず、小川や湖を汚しません。私は、持ち込んだものを持ち帰ります。
3. 私は、樹木、低木、その他の自然の景観を損なわないようにします。
4. 私は、他人の所有物や権利を尊重します。
5. 私は、困っている人を見かけたら手を差し伸べます。
6. 私は、捜索および救助活動に協力できるよう、自分自身とスノーモービルを役立てます。
7. 私は、他のウィンタースポーツを楽しんでいる人々の活動を妨害しません。私は、他の人々のレクリエーション活動や施設を楽しむ権利を尊重します。
8. 私は、スノーモービルを運転する地域におけるスノーモービルの制限速度や、運転に関するすべての国および地域の法令を理解し、遵守します。
9. 私は、野生動物を困らせたりしません。
10. 私は、スノーモービルが禁止されている場所では運転しません。
11. 私は、薬物、アルコール、または医薬品の影響がある状態でスノーモービルを運転しません。

スノーモービルの運転

安全運転に関する指示

スノーモービルのエンジンを始動する前に

1. 危険な気象条件が発生する可能性がないか、天気予報を確認してください。
2. 適切な衣服を着用してください。現在の気象条件や予報に基づいて、ヘルメット、ゴーグル、適切な衣服を着用しなければなりません。長いスカーフなどスノーモービルの可動部に巻き込まれる可能性があるものは着用せず、靴紐を緩んだ状態にしたりしないでください。
3. 行く場所と、戻ってくるおおよその時刻を誰かに知らせておいてください。
4. 「パディシステム」を利用して、友人と一緒に乗るようにしてください。単独での走行は避けてください。
5. スノーモービルにサバイバルキットと必要な物資をすべて装備してください。懐中電灯、重要なスペアパーツ、工具キットは、常にスノーモービルに携行してください。また、身分証明書、お金、携帯電話、マッチ、ナイフ、コンパス、紙、筆記用具も携行しておくといいでしょう。
6. スノーモービルの走行/始動前点検を完了してください（詳細は17ページを参照）。
7. 適切な指導を受けていない初心者や経験の浅いライダーには、スノーモービルを運転させないでください。初心者や経験の浅いライダーについては、事前に決められた平坦なコース上で注意深く監督し、管理するようにしてください。免許の取得および運転の最低年齢に関する国や地域の要件を遵守してください。オペレーターズガイドおよびスノーモービル安全ハンドブックを熟読し、理解し、すべての推奨事項に従ってください。
8. 私用地を横断する場合は、事前に許可を得てください。
9. アルコール、薬物、または判断力や反応力を損なう可能性のある医薬品を服用している場合は、絶対にスノーモービルを運転しないでください。
10. 天候によっては、地面やその他の接触面にトラックが凍り付いている可能性があるため、スノーモービルを左右に揺らしてトラックが回転することを確認してください。この手順により、ドライブベルトの不必要な摩耗を防ぐことができます。
11. スノーモービルを運転するにあたり、精神面を整えるようにしてください。緊急事態においては自動的な反応が求められます。

スノーモービルのエンジンを始動した後

1. ヘッドライト（ハイビームとロービーム）、テールライト、ブレーキライトが正常に作動し、正しく調整されていることを確認します。最大限の照明効果を得るために、すべてのライトがきれいな状態であることを確認してください。エンジンが作動しているときは、ヘッドライトとテールライトが点灯していなければなりません。
2. 緊急停止スイッチを作動させて、スイッチが正常に動作することを確認してください。緊急停止スイッチが正常にエンジンを停止させる場合は、エンジンを再始動してください。

警告

緊急停止スイッチが機能しない場合は、スノーモービルを運転しないでください。

3. エンジンおよびドライブトレインの可動部品に足、手、衣服を近づけないでください。調整や修理を行うときは、必ずエンジンを停止してください。
4. 極寒の天候でスノーモービルを運転するときは、ドライブシステムを「慣らし運転」する必要があります。スノーモービルの後部を保護付きの安全スタンドで持ち上げるか、スノーモービルを横に倒してスロットルを少し開き、トラックを数回転させます。この回転により、ドライブベルト、ベアリング、トラックが適切に「ウォームアップ」します。トラックを「ウォームアップ」させているときは、絶対にエンジンを高速回転させないでください。

警告

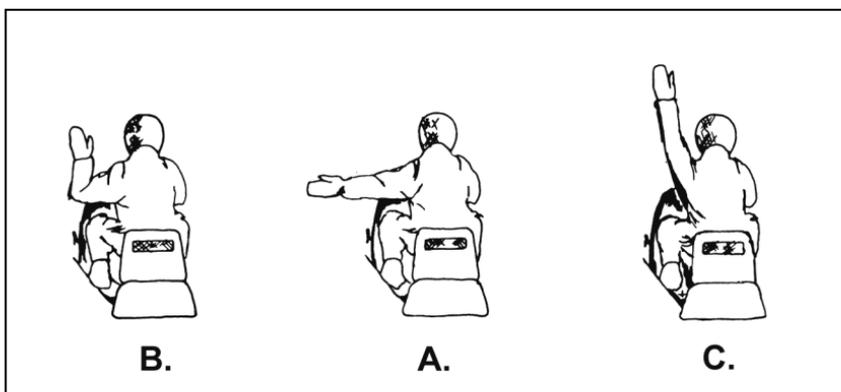
トラックの「ウォームアップ」中は、スノーモービルに誰も近づけないでください。トラックの破片が飛んできたり、トラックに接触したりして、重傷を負う可能性があります。

5. キャップを外し、テザースイッチが確実に動作することを確認してください。テザースイッチコードをオペレーターのいずれかの部分（スーツ、ベストなど）に取り付けてから、エンジンを再始動してください。

走行を開始した後

1. 常にランニングボードに足を置き、回転しているトラックから足が離れるようにしてください。スノーモービル走行中は、どのような状況でも絶対に足をランニングボードの縁から外に出さないでください。
2. 乗員数の制限に従ってください。スノーモービルが一人乗り用に設計されている場合は、絶対に同乗者を乗せないでください。スノーモービルが同乗者を乗せるように設計されている場合（ハンドグリップが装備されている場合）は、同乗者に安全に関する説明を行った後で乗せてください。

3. 制限速度や、指定された地形や状況に応じて許可されている速度を超えてスノーモービルを運転しないでください。常識な運転を心がけてください。障害物や疑わしい場所は避けてください。雪やまぶしさによって、急な崖や谷が見えていないことがあります。
4. スノーモービルを線路の間や線路の敷地内で運転しないでください。スノーモービルのエンジン音によって、近づいてくる列車の音が聞こえない場合があります。
5. アイススケートやスキーをしている人から離れてください。スキー場やスキーコースでは、絶対にスノーモービルを走行させないでください。
6. 他のスノーモービルが走行しているコースを横切らないでください。衝突すると重傷や死亡事故につながる可能性があります。
7. 道路から十分に離れた場所でスノーモービルを運転してください。道路や高速道路を横断する前に完全に停止し、他のすべての車両の通行を優先してください。高速道路の近くを運転したり、夜間に対向車線に向かって運転したりすると、混乱を招き、重大な事故につながる可能性があります。
8. ヘッドライト使用時にスピードを出し過ぎないようにしてください。スノーモービルの安全のカギとなるのは視界です。必ず危険を認知して回避できる十分な時間が取れる速度でスノーモービルを運転してください。
9. 特にグループ（サファリ）走行のときは、常に適切な手/腕の合図を使用してください。一般的に認められている合図は以下のとおりです。
 - A. 左折：左腕を体の左側に真っ直ぐ伸ばす。
 - B. 右折：左腕を水平に伸ばし、肘を曲げて手を垂直に上げる。
 - C. 減速または停止：どちらかの手を真っ直ぐ頭の上に上げる。



0000-051

10. スノーモービルを後進させるときは、常に注意を払い、最低限の速度で運転してください。スロットルを操作する前に、リバーススイッチが目的の位置にあることを確認してください。

スノーモービルの準備

メンテナンス

スノーモービルの安全を確保して運転を楽しむためには、適切なメンテナンスと定期的なケアが必要です。スノーモービルは、過酷な天候や地形条件で運転されることが多いため、特定の機械的作業を行うときは注意が必要です。必要に応じて、スノーモービルのすべてのメンテナンスを専門家に依頼して正しく行うことが不可欠です。スノーモービルの安全と信頼性を確保するために、テストされた純正のBRPスノーモービル交換用部品およびアクセサリのみを使用してください。このオペレーターズガイドで指定されているメンテナンススケジュールに必ず従ってください。運転前に必ず走行/始動前点検を行って、安全を確保してください。

適切なメンテナンスと走行/始動前点検に加えて、地形、高度、気温の変化に対応するために、スノーモービルを適切に準備することが重要です。所定の条件下で、スノーモービルの操作性と性能を向上させるために、超硬スキーウェアパーキット、トラックスタッドキット、高高度キット、ホイールキットを利用することができます。特定の地形で使用する特定のキットについては、BRP認定スノーモービルディーラーにご相談ください。

走行/始動前点検

以下の点検を完了し、適切な修正や調整を行わない限り、エンジンを始動したり、スノーモービルに乗車したりしないでください。

1. **キャブレターと排気** システムがしっかりと固定されていることを確認します。
2. **ベルト ガードとフード/アクセスパネル**が所定の位置にあり、しっかりと固定されていることを確認します。
3. **ウィンドシールド**に破損や割れてギザギザになった部分がないことを確認します。
4. **ボルトやリベットが緩んでいないか**点検します。緩んでいるボルトはすべてしっかりと、または指定のトルクで締め付けます。緩んでいるリベットはすべて交換します。
5. **ブレーキの動作**を確認します。必要に応じて調整を行います。
6. スキーを手動で（無理に動かさないように）完全に左右に動かして、**ステアリングシステム**の正常動作を確認します。問題が発生した場合は、問題の原因となっているコンポーネントを点検し、修理または交換するか、またはステアリングコンポーネントを妨げている可能性のある氷や雪を除去してください。ステアリングリンケージ、ボールジョイント、またはスキーの接続部に過剰な遊びがあってはなりません。

7. スロットルの動作を確認します。スロットルレバーをいっぱいまで完全に数回押し込み、スムーズに動作し、素早く完全にアイドル位置に戻ることを確認します。

⚠ 警告

スロットルレバーがアイドル位置に素早くきちんと戻らない場合は、スノーモービルを運転する前に、スロットルシステムの修理または、損傷した部品の交換を行う必要があります。

8. ドライブベルトとトラックの摩耗の有無やアライメントを確認します。必要に応じて交換するか調整します。
9. スノーモービルのガソリンとオイルの供給を確認します。ガソリンタンクを満タンにしていない状態では、絶対に長距離走行をしないでください。緊急事態に備え、常に予備の燃料を用意しておいてください。スノーモービルで走行する前に、ガソリンタンクを満タンにし、すべての液体レベルを確認する習慣をつけると良いでしょう。
10. オペレーターズガイドと必要なすべての緊急用装備品がスノーモービルに備わっていることを確認します。
11. スノーモービルを始動させる前に、スノーモービルの進行方向が空き地に向いていること、またスノーモービルの前方および後方に誰もいないことを確認してください。

適切な給油

適切な給油は、スノーモービルを運転する上で非常に重要な要素です。現在製造されているほとんどのスノーモービルは、特定の状況を除いてガソリンとオイルを事前に混合する必要はありません。オクタン価やガソリンの種類、およびオイルに関する推奨事項など、具体的な指示については、オペレーターズガイドをお読みください。

ガソリンは爆発性が高いため、取り扱う際は常識をわきまえる必要があります。ガソリンタンクへの充填は、換気のよい場所で行ってください。ガソリンを飲んだり、ガソリンに触れたりしないでください。ガソリンを飲み込んだりガソリンが目に入った場合は、直ちに医師の診察を受けてください。皮膚がガソリンに触れた場合は、直ちに石鹼と水で洗ってください。ガソリンで湿った衣服は、直ちに交換してください。

ガソリン携行缶からガソリンタンクに給油する際は、ガソリンがこぼれないようにし、異物がガソリンタンクに入らないように目の細かいメッシュ付きの漏斗を使用してください。ガソリンは温度が上昇すると膨張するため、ガソリンタンクは規定量を充填するだけにしてください。

スノーモービルに給油するときは、以下の点に注意してください。

1. 絶対にタバコを吸ったり、マッチに火をつけたりしないこと。
2. スノーモービルのエンジンが作動している間は、絶対に給油しないでください。
3. ガソリンタンクへの過剰な充填は絶対にしないでください。
4. 給油中に燃料をこぼさないでください。

スノーモービルの走行

初めての走行

適切な説明を受けていない場合は、絶対にスノーモービルを運転しないでください。すべてのスノーモービルのオペレーターに、認定スノーモービル安全講習に参加することをお勧めしています。初めてスノーモービルを運転する際の最も重要な目的は、始動、停止、旋回の実感をつかむことです。スノーモービルの初心者は、オペレーターズガイドとスノーモービル安全ハンドブックに記載されている情報を読み、理解し、経験豊富なスノーモービル使用者に正しい始動、停止、旋回方法をアドバイスしてもらった後に、障害物のない広い場所でスノーモービルを運転するようにしてください。初心者が特に注意すべきことは、練習や経験を積み重ねて、過信するようになってはならないということです。スノーモービルを運転するには、特別な技術と知識が必要であり、それらは時間をかけて習得しなければなりません。

スノーモービルの基本操作の習得

始動するときは、スロットルを軽く押し、ゆっくりと前進します。徐々に速度を上げ、スロットルを放してブレーキをかけてみます。スノーモービルの旋回は、オートバイの旋回と似ています。旋回するとき、オペレーターは、旋回する方向に体を傾ける必要があります。旋回は単純な動きではなく、1) スノーモービルの速度、2) 旋回する方向、3) 雪の状態、4) スキーにかかる重量という、4つの基本的な要因によって動きが決まります。柔らかい雪や軽い圧雪の上でスノーモービルを旋回させるとき、大きく旋回するとき、または中程度の速度で旋回するとき、オペレーターは膝をつくような姿勢を取り、旋回する方向に体を傾ける必要があります。高速で旋回するとき、オペレーターは、着座姿勢のままに旋回方向に体を傾ける必要があります。固い圧雪や氷の上での高速旋回は危険であるため、お勧めできません。固い圧雪や氷の上で旋回を練習するとき、経験の浅いオペレーターは、よりゆっくりとした速度を維持するようにしてください。それぞれの速度でどれだけ体を傾げるべきかは、経験によってのみ学ぶことができます。

運転姿勢

通常、スノーモービルは、立ち乗り、膝立ち、しゃがみ立ち、着座という4つの基本姿勢で運転します。それぞれの姿勢には、種々の地形や雪の状態における長所と短所があります。それぞれの状況において、オペレーターにとってどの姿勢が最適であるかは、経験によってのみ判断できます。

着座 — 両足をランニングボードに置き、シートの中央に乗ってシートにもたれ、腰と膝が柔軟に動ける位置に置きます。着座姿勢は、慣れた滑らかな地形でのスノーモービルの運転に最適です。一般的に、この姿勢が最もリラックスでき、安全であると認められており、緊急事態でも最も良い操作を維持することができます。

膝立ち — この姿勢では、一方の脚をランニングボードにしっかり置き、他方の脚の膝をシートに載せます。膝立ちの姿勢では、低速走行時に体重を素早く移動できます。特に深雪での旋回に「ボディー?イングリッシュ」（体重や体の姿勢を利用すること）を生かすことができます。この姿勢は、オペレーターがウィンドシールドによって冷気や雪から保護されなくなるという欠点があります。また、膝立ちの姿勢では、緊急時にスノーモービルを素早く制御することができません。この姿勢では、急停止を避けなければなりません。

立ち乗り — 両足をランニングボードに乗せ、膝を曲げます。立ち乗りの姿勢では辺りがよく見え、状況の変化に合わせて体重を移動させ、最大のトラクションを得ることができます。急勾配を登るとき、オペレーターは立ち乗りで前傾姿勢をとる必要があります。膝立ちの姿勢と同様に、立ち乗りの姿勢では、緊急時にスノーモービルを素早く制御することができません。この姿勢では、急停止を避けなければなりません。

しゃがみ立ち — シートから体を浮かせて、しゃがんだ姿勢（スクワットの姿勢）を取ります。この姿勢をとることで、起伏のある地形を走行する際に、脚がショックアブソーバーの役割を果たします。

スノーモービルが雪にはまってしまった場合

スノーモービルが雪にはまってしまった場合は、はまったスノーモービルを自力で脱出させようとするよりも、それ以上はまらないようにすることの方が無難です。2つのテクニックを用いれば、雪にはまりにくくなります。まず、新雪が深く積もっている場合は、すでに踏み固められた雪の上でスノーモービルを停止させます。これは、スノーモービルをぐるりと一周運転し、その踏み固められた円周上で停止することで行えます。次に、スノーモービルは必ず進行方向を下り坂に向けて停止させてください。絶対に上り坂に向けて停止させないでください。

スノーモービルが雪にはまってしまった場合、無理に引きずり出そうとしないでください。これは腰や心臓に負担がかかります。

深い雪の中でスノーモービルを脱出させる方法は2つあります。1つ目の方法は、ランニングボードの後部に立ち、スロットルを軽く押し（トラックを空転させたりトラクションを失わせたりすることなく）、上下に跳ねるといふものです。これにより、スノーモービルのトラックにより多くの圧力が加わり、スキーにかかる荷重がいくらか軽減されます。この方法がうまくいかない場合は、スロットルを大きく開かないでください。スノーモービルがさらに深く埋まってしまうだけになります。

2つ目の方法は、スノーモービルのエンジンを切り、スノーモービルの前方約3〜5フィート（1〜2メートル）の場所を踏み固め、スノーモービルよりも低い位置に短いトレールを作ることです。その後、スノーモービルの後部を（膝から）持ち上げて新雪の上に置き、エンジンを始動させ、スロットルをゆっくりと押して（トラックを空転させたり、トラクションを失わせたりしないように）前進させます。加速中に、トラックの下に異物を置いて支えたり、ハンドルバーでスノーモービルを押ししたりしないでください。リバースイッチ付きのモデルは、特定の条件下では、バックするだけではまった状態から抜け出せることができます。

グループ（サファリ）走行

どのスノーモービル使用者にも、グループ（サファリ）走行の楽しさや安全性に関心があるものです。グループ走行を行う前には、トレールに最も詳しい人をリーダーに指名するようにしてください。グループのメンバー全員が、予定されているルートと目的地についてよく理解しておく必要があります。また、グループの後ろを追う「シャドー」と呼ばれるライダーも指名しておく必要があります。以下に示すグループ走行のルールに従うようにしてください。

1. リーダーや他のスノーモービルを追い越さないでください。
2. 常に手で適切な合図を送りましょう。
3. どのスノーモービルとも、安全な距離を保つようにしてください。
4. 適度な速度で、安定したペースを保ってください。すべての制限速度に従ってください。状況や常識で許される以上の速度で運転しないでください。
5. 定期的に休憩を取るようにしましょう。
6. 道路や線路を横断するときは、90°の角度で一列に横断してください。
7. 必要に応じて他の人々を補助してください。
8. 十分な量のガソリンを充填し、必要な工具と緊急用装備を携行してください。

地形や走行状況の変化

スノーモービルが必ずしもトレールを走行できるとは限りません。トレールでスノーモービルを使用できるかどうかについて、地域の関係当局に確認してください。

スノーモービルは一般的に、慣れた道路やトレールを走行する自動車やオートバイとは異なり、他の車両では走行できない場所にも進入することができます。スノーモービルは多用途の車両であるため、オペレーターは、危険な場所や状況でもスノーモービルを走らせたくなるものです。しかし、どのようなときもスノーモービルの限界を理解し、どのような地形でも慎重に運転することが重要です。走行しながらトレールを把握するようにしてください。何が待ち受けているかを理解し、そこに到達するかなり前から対処できるように備えましょう。以下のセクションでは、スノーモービル使用者が遭遇する可能性が高い各種状況と、それぞれの状況下でのスノーモービルの運転方法の概要について説明します。スノーモービルは、道路、街路、高速道路での使用を目的として設計されています。

整備されたトレール

整地されたトレールで推奨される走行姿勢は、着座姿勢です。トレールにある標識を常に確認し、トレールの右側を走行し、不測の事態に備えてください。トレールを斜めに横切ってレースをしたり、ジグザグ走行をしたりしないでください。トレール上で、または他のスノーモービルから見えにくいトレール上の場所で突然停止しないでください。

整備されていないトレール

整備されていないトレールで推奨される走行姿勢は、着座姿勢、膝立ち、およびしゃがみ立ちです。最近雪が降っていない場合は、雪の吹きだまりがあったり起伏が激しくなっていることが予想されます。このような状況では、適度な速度で走行し、隠れた岩や切り株などに注意することが重要です。

深雪

深雪条件のトレールで推奨される走行姿勢は、膝立ちおよび立ち乗りの姿勢です。深雪でのスノーモービルの挙動は、雪の深さが6インチ（15 cm）の場合と異なります。旋回は難しくなり、雪にはまるリスクが高まり、スノーモービルは動きが鈍くなります。旋回をこなすにはより高い速度が必要となるため、大きくゆるやかに旋回する必要があります。必ず、スノーモービルの進行方向を空き地や下り坂に向け、前に走行した跡の上で停止するようにしてください。

氷や固い圧雪

氷や固い圧雪の上では、スキーやトラックは十分なトラクションを得ることができません。スノーモービルを運転する際は、減速し、急加速、急旋回、急ブレーキを避けるように注意してください。このような状況での走行には、トラクション補助具の使用をお勧めします。旋回は低速で行ってください。氷や固い圧雪の上ではブレーキ性能が低下するため、常に細心の注意を払ってください。ブレーキをしっかりとかけたときにトラクションがロックすると、スノーモービルが蛇行し、操縦操作が制御不能に陥る危険性があります。オペレーターは、着座姿勢のときに最もよくコントロールできるようにします。旋回やブレーキ操作の結果として横滑りが発生した場合は、スキーを横滑りの方向に向け、スロットルを軽くかけます。

可能であれば、水路は避けてください。凍った湖や川の上を走行すると、命にかかわる危険があります。氷の厚さや強度について疑問や不安がある場合、またはその地域をよく理解していない場合は、氷の状態について地域の関係当局に問い合わせてください。また、入り江、排水口、泉、流れの速い場所、その他薄い氷を形成する可能性のある危険な場所についてもよく把握しておくか、問い合わせるようにしてください。十分な厚さがあると思っても、氷の上を絶対に走行しないでください。

上り坂

坂の角度にもよりますが、上り斜面を登るには2つの方法があります。障害物が少ない坂の場合は、スラローム方式（サイドヒル走行）で登ることができません。オペレーターは、常に上り坂側に体重をかけながら、膝立ちの姿勢をとってください。オペレーターは、安全な速度を維持しながら、斜面をできるだけ一方方向に斜めに横切り、同じ角度で反対方向に引き返します。このとき、スノーモービルの重量が上り坂側にかかるように、運転姿勢を切り替えます。ダイレクトクライム方式での登坂は、慎重に行う必要があります。オペレーターは、立ち乗りの姿勢を取り、登り始める前に加速し、その後、トラックのスリップを防ぐためにスロットル圧を減らすようにする必要があります。

いずれの登坂方法でも、傾斜の角度に応じた速度でスノーモービルを走行してください。丘の頂上に近づいたら、必ず減速してください。スノーモービルがエンストした場合は、エンジンを停止し、スキーを引いて進行方向が下向きになるように移動し、スノーモービルの後部を丘の上に向け、スノーモービルにまたがって転倒しないように姿勢を整え、エンジンを始動し、スロットルをゆっくりと一定に保ちながらゆっくりと出発します。

下り坂

下り坂の走行でスノーモービルを完全にコントロールするには、着座姿勢が最適です。重心を低く保ち、スロットルを軽く押したままにしておくと、エンジンをさせたままでスノーモービルを下り坂で走らせることができます。速度は最低限に抑える必要があります。安全速度を超える速度になった場合は、ブレーキに軽く頻繁にかけるようにしてください。絶対にブレーキをいっぱいにかけてトラックをロックさせないでください。

サイドヒル（斜面横断）

サイドヒル走行で推奨されるのは、膝立ちの姿勢になり、下り坂側の足をスノーモービルシートに乗せる姿勢にすることです。この姿勢により、必要な体重移動を素早く行うことができます。どのオペレーターも、斜面に向かって体を傾けるようにしてください。内側に（斜面の方に）大きく体を傾けるほど、トラックの内側に大きな圧力がかかり、より優れたコントロールが可能になります。「サイドヒル走行」は、新雪の深い雪の上では比較的簡単ですが、氷や固い圧雪の上では非常に困難です。氷の張った斜面では、経験豊富な「サイドヒル熟練者」だけが走行するようにしてください。

危険

スノーモービルの走行には危険が伴います。通常、トレールシステムや利用頻度の高いエリアにはほとんど障害物はありませんが、低く垂れ下がった枝、支線、電柱、溝、道路、フェンス、水面などの危険がないか注意する必要があります。

フェンスおよび電柱

フェンスや電柱は、部分的にまたは完全に雪に覆われていることがあります。走行前にフェンスの位置を確認するよう注意してください。見慣れない地形の場所では、慎重に進んでください。新たに発見したフェンスには、旗や反射材などで印を付けてください。小さな雪の山を乗り越えないでください。フェンスや岩山である可能性があります。

ワイヤー

隠れたワイヤーがないか、常に注意してください。フェンスワイヤー、支線、道路の封鎖に使用されるチェーンやワイヤーはすべて危険であり、回避すべきものです。トレールは、支線から安全な距離を保って設けられるべきものです。ポールと支線の間にはワイヤーを設けないでください。反射材を支線やフェンスに取り付けると、夜間でも認識しやすくなります。ワイヤーは非常に発見しにくいいため、見慣れない場所では夜間に運転しないでください。

溝、掘削穴、暗渠

溝や掘削穴は、部分的にまたは完全に雪に覆われていることがあります。道路や住宅地付近を通るスノーモービル用トレール沿いでは、水面、深い溝、暗渠、整備されていない掘削穴は特に危険です。スノーモービル使用者は、溝の底が確実に確認できない限り、溝の中を走ろうとしないでください。

暗渠では、スキーが引っ掛かり、スノーモービルが転倒する可能性があります。暗渠のある交差点に近づくとき、または暗渠が存在する可能性がある場合は、注意してください。

道路の横断

道路の不適切な横断は危険であり、場所によっては違法行為となります。道路に近づくときは注意して、無理なく横断できる場所を選びましょう。視認性を高めるために、立ち止まるようにしてください。完全に停止し、左右を確認し、他の交通が途切れるまで待ってから、道路を直角に横断してください。絶対に道路を斜めに横断しないでください。また、乾いたまたは凍結した舗装路ではハンドル操作がほぼ不可能であることも覚えておいてください。また、舗装道路でスノーモービルを停止させると、発進が非常に困難になるため、絶対に停止させないでください。

線路の横断

スノーモービル用のトレールが線路を横切っている場合があります。線路を横断するときは、完全に停止し、左右を確認し、他の交通が途切れるまで待ってから、線路を直角に横断してください。線路を斜めに横断すると、スキーが線路にはまり込むおそれがあります。線路をスノーモービル用のトレールとして使用することは、違法であり非常に危険であるため、絶対に行わないでください。スノーモービルエンジンの騒音により、スノーモービルのオペレーターは、後方から近づく列車の音が聞こえない場合があります。

よく知らない地域

既存のスノーモービル用のコースやトレールを走行する場合でも、不慣れな地域では、常に細心の注意を払ってスノーモービルを運転してください。走行を中断せざるを得ないような危険や障害物を認識できるように、十分に速度を落として進んでください。小さな岩や切り株でさえ、スノーモービルがコントロールを失い、オペレーターや同乗者が重傷を負うおそれがあります。安全を意識し、スピードを落として見慣れない土地の景色を楽しみましょう。

霧や大雪の中では、どんなに慣れたトレールでも見慣れない危険な場所となります。霧や激しい降雪の中に進入しなければならない場合は、低速で進み、意識を集中して危険がないか見張ってください。前方の状況がよくわからない場合は、進まないでください。

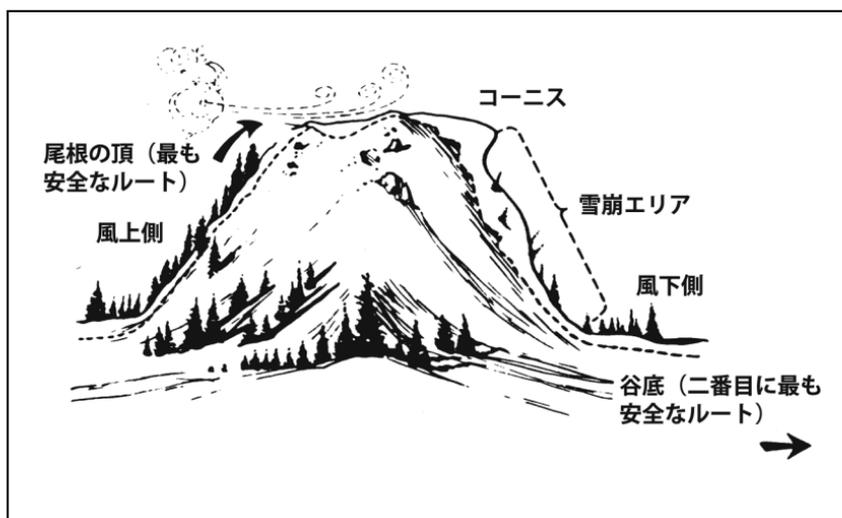
夜間の運転

夜間のスノーモービル運転は大変人気がありますが、夜間の運転は非常に危険です。障害物やその他の危険（昼間には簡単に確認できるもの）は、夜間になるとはるかに見にくく、回避も困難です。夜間に運転するときは、スノーモービルのライトが適切に調整され、正常に機能していることを確認してください。ヘッドライト使用時でもスピードを出し過ぎないように、速度を落としてください。夜間は、見慣れないエリアを走行したり、新しいトレールを開拓したりしないでください。非常時に合図を送るために、懐中電灯や照明弾を常に携帯してください。

雪崩エリア

場合によっては、スノーモービルで山岳地帯を走行することもあるでしょう。足跡ひとつでも雪崩を引き起こす可能性があるため、スノーモービルであれば確実に雪崩を引き起こす可能性があります。

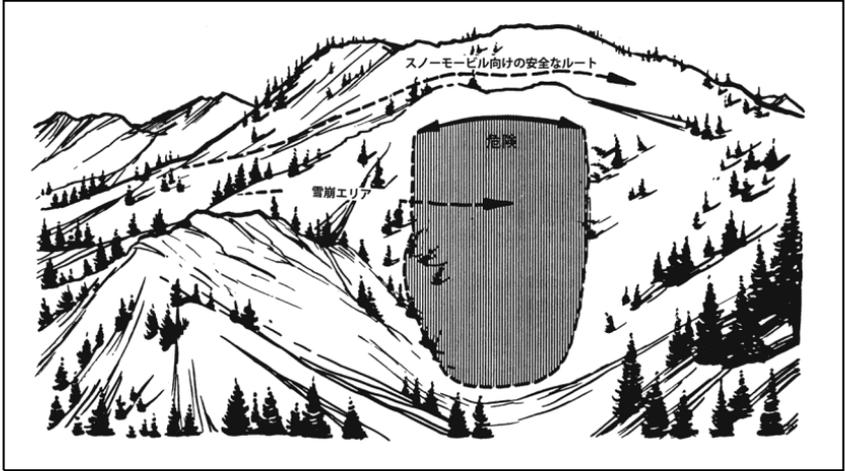
雪崩を避ける最善の方法は、雪崩の可能性がある地域に近づかないことです。最も安全なスノーモービルのルートは、尾根の上、風上側、および雪庇から離れた場所です。通常、風上斜面は風下斜面よりも安全です。尾根を走ることができない場合、次いで安全なルートとなるのは、斜面の麓から離れた谷間です。雪庇の下または上から揺さぶるようなことは避けましょう。雪庇の周辺を迂回して、尾根の頂上まで運転してください。



0000-063

斜面の麓部分をスノーモービルで横断しないでください。特に長い開けた斜面や、雪崩が通過することで知られている場所では、スノーモービルを運転しないでください。多くの潜在的な危険がある区域には標識が立てられ、通行禁止となります。雪庇のある場所では、スノーモービルの後ろに雪崩紐を取り付けてください。雪崩に埋もれた場合、この明るい色の軽いロープが雪の表面に浮かび上がり、迅速な救助の補助となります。

雪崩に巻き込まれた場合は、すべての装備を捨て、スノーモービルから離れてください。泳ぐような動きをして、雪崩の表面にとどまり、雪崩の側面に向かって進むようにします。停止する前に、両手を顔の前に出し、停止する際に雪の中に空間ができるようにします。



0000-064

イラストは、ワシントン州シアトルのOutdoor Empire Publishing, Inc. の許可を得て転載しています。Copyright 1983。無断複写?転載を禁じます。

応急処置

寒冷地での負傷

凍傷、低体温症、雪盲は、スノーモービルの運転で最もよく見られる負傷です。これらの症状の初期段階を理解し、適切な処置を知っておくことで、後遺症や死亡事故を防ぐことができます。ご自身や他の方の安全のため、認定された応急処置法の講習を受講してください。

凍傷

凍傷は、皮膚の水分や下層の軟組織が凍結して結晶化するもので、寒冷時の最もよく見られるけがです。鼻、頬、耳、指、足指が、凍傷になる最も一般的な部位です。他人に言われるまで凍傷に気づかないことがよくあります。凍傷が進行すると、次のような順序で症状が現れます。

1. 患部の皮膚がわずかに赤くなる。
2. 皮膚の色が白または灰黄色に変化する。
3. 初期に痛みを感じることもあるが、後に治まる（痛みを感じないことも多い）。
4. 水疱ができる。
5. 患部がひどく冷たく、しびれる。
6. 精神面で混乱し、判断力が低下する。
7. 被害者はよろめく。
8. 視力が低下する
9. 被害者は倒れ、意識を失う可能性がある。
10. ショック症状が現れる。
11. 呼吸が止まる可能性がある。

軽度の凍傷の場合は、患部をゆっくりと温めることで治療できます。凍傷を負っている部位を擦らないでください。重度の凍傷は医師による治療が必要です。

低体温

低体温症とは、体内で熱が産生されるよりも速い速度で熱が奪われる状態であり、体内の貴重なエネルギーを消耗します。低体温症が進行すると、次のような順序で症状が現れます。

1. コントロールできない震えと手の震え。
2. 感覚麻痺と記憶喪失。
3. 危険なほど低い体温。
4. 意識混濁、頻繁につまずく、よろめきながら歩く。
5. 不明瞭でゆっくりとした話し方、眠気、明らかな疲労。
6. 被害者が倒れる。

低体温症は、できるだけ早く医師の治療を受ける必要があります。それまでは、被害者を暖かく乾いた衣類や毛布で覆ってください。低体温症を予防する最も良い方法は、適切な服装をし、濡れないようにすることです。

雪盲

雪盲症は、中程度の明るさから強い日差しの日には、スノーモービル使用者が経験する可能性がある症状です。症状は以下のとおりです。

1. 激しい頭痛。
2. めまい。
3. 光に対して過敏になり、ちかちかして見える。

推奨される治療法は、完全に暗い場所に直ちに移動することです。雪盲症は、適切な色のレンズのゴーグルまたはフェイスシールドを着用することで予防できます。

緊急時

どのスノーモービル使用者も、常に緊急事態に備えておく必要があります。予定している自分の旅程と予想帰宅時間を誰かに知らせておくことは、安全を確保するための良い手段となります。トレールでのスノーモービルの運転中に事故に遭ったり、スノーモービルが故障して修理できない場合、**あなたは緊急事態に直面しています！**緊急事態に直面した場合は、冷静になり、濡れず暖かく過ごすことを忘れないでください。パニックや疲労は、けがや死につながる不必要な行動を引き起こす可能性があります。雪上バイクで10分または20分で移動できる距離を、2日または3日かけて移動しなければならない可能性があるため、極めて深い雪の中では歩こうとしないでください。

スノーモービルで長時間の旅に出る場合は、安全と保護のために、以下の追加装備をお勧めします。

お勧めする追加装備

スペースブランケット	ロープ
キャンディーバー	ポケットナイフ
オペレーターズガイド	摩擦テープ
防水マッチ	予備のスターターロープ
懐中電灯	工具キット
予備のスパークプラグ	ガソリン用解氷剤
救急キット	ショベル
スノーシュー	斧
予備の手袋、靴下、 ブーツライナー	照明弾
予備のドライブベルト	金属製のカップまたはやかん
コンパス	防水シートまたはプラスチック シート
エリアマップ	携帯電話

■注記：スノーモービル1台では、荷台を装備するか、そりをけん引しない限り、これらの装備をすべて運ぶことは不可能です。これが、他のスノーモービル使用者とともに長距離を移動し、荷物を分担する必要がある理由のひとつです。

危機的状況

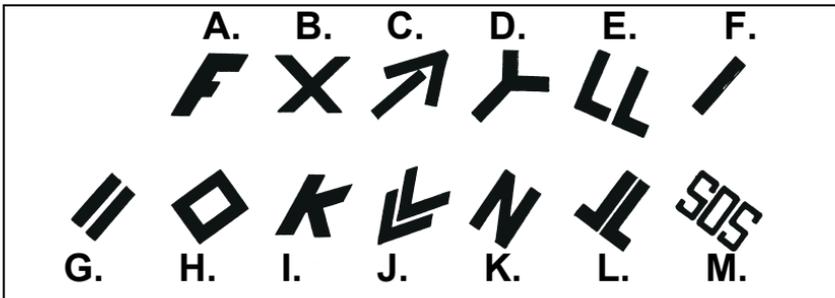
危機的状況を楽に抜け出すには、いくつかのステップがあります。危機的状況での最高のツールは、あなたの頭脳であることを忘れないでください。この状況では、知恵を使うようにしてください。以下の手順に従うことが、あなたの命を救うことになります。

1. パニックに陥らないようにしましょう。
2. 行動計画を立てましょう。
3. 周りの人と一緒にいるようにしてください。
4. エネルギーと体温を温存しましょう。
5. 適切な避難場所を作りましょう。
6. 火をおこしてください。
7. きれいな雪を溶かして水を作りましょう。
8. 助けを求める合図を送りましょう。

■注記：危機的状況でのテクニックに関する詳細は、図書館で調べたり、救急法の講習を受講したりして学習してください。上記のリストは、手順の概要のみをまとめたものです。

救命信号

地上から空中への救助信号は、長さを約100フィート（30メートル）とし、信号の片側を「壁のように立てて」示すようにするか、信号の部分に枝を持ち込んで視認性を高めるようにします。以下の図に示す適切な合図を使って、緊急事態を明確に示してください。



0726-101

- | | |
|-------------|---------------|
| A. 食料が必要 | H. コンパスと地図が必要 |
| B. 進行不可 | I. 進むべき方向を教えよ |
| C. この方向に進行中 | J. 銃が必要 |
| D. Yes | K. No |
| E. 万事順調 | L. 理解できません |
| F. 医師が必要 | M. あらゆる助けが必要 |
| G. 医薬品が必要 | |

おわりに

スノーモービルクラブに参加するか、クラブの立ち上げを支援しましょう。オペレーターズガイドおよび車両上のラベルに記載されている情報を読み、理解し、従ってください。スノーモービルの安全講習やけが人の応急処置法の講習を受けましょう。スノーモービル使用者として、責任ある行動を取りましょう。では、安全第一でスノーモービルをお楽しみください。

注記:

注記:

注記:



警告

オペレーターズガイド、安全ハンドブック、安全講習ビデオおよび製品に貼付されている警告ラベルに記載の安全注意事項やインストラクションを無視すると、負傷や死亡事故が生じる恐れがあります。



®TMおよびBRPのロゴは、BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC.またはまたはその子会社の商標です。

©2023 BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC.無断複写・転載を禁じます

www.brp.com

SKI-DOO®

LYNX®

SEA-DOO®

CAN-AM®

ROTAX®

ALUMACRAFT®

MANITOU®

QUINTREX®